

事業実績書

事業名		音楽を絆とした新たなコミュニティの創出 ～部活動の地域移行を通して～
場所		沼津市民文化センター、千本プラザ
期間		令和5年4月16日 ～ 令和6年3月24日
	日程	実施項目・作業項目
事業 内容		※ 実施内容、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、スケジュールも併せてわかりやすく記載してください。 イベントや研修会等の行事日程だけでなく、事業期間すべてにわたる実施内容を記入してください。(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会など)
	4/16	第1回活動日(パート練習・支援13名)
	4/30	第2回活動日(合奏・支援6名)
	5/14	第3回活動日(パート練習・支援10名)
	5/28	第4回活動日(合奏・支援9名)
	6/11	第5回活動日(合奏・支援13名)
	6/25	第6回活動日(合奏・支援15名)
	7/8	本番:沼津市制100周年記念イベントにて演奏(支援20名)
	8/27	団内イベント:フィールド大会(支援10名)
	9/10	第7回活動日(パート練習・支援7名)
	9/18	本番:全日本フェンシング選手権大会オープニングアクト ※沼津プラス・フロンティアの本番に有志3名が参加
	9/24	第8回活動日(合奏・支援7名)
	10/8	第9回活動日(合奏・支援8名)
	10/22	第10回活動日(合奏・支援13名)
	11/3	本番:第50回沼津市芸術祭にて演奏(支援10名)
	11/26	第11回活動日(合奏・支援8名)
	12/10	第12回活動日(合奏・支援11名)
	1/14	第13回活動日(合奏・支援7名)
	1/28	第14回活動日(合奏・支援11名)
	2/17	本番:千本プラザ春のイベント「福祉ふれあい広場」にて演奏(支援13名)
	2/25	団内イベント:フィールド大会(支援9名)
	3/24	卒団式(支援17名)
		<役割> 合奏指導…栗原克弥 フィールド運営支援…荻野貴恵、松下厚美、松澤敬一、山下和海、佐野玉姫 ※パート指導、不足パート補助…沼津プラス・フロンティア団員
		<会議・打ち合わせなど運営について>
	3月～	令和6年度新規団員募集開始(新2,3年生向け)
	4/10	会議(予算案、新体制での練習計画、募集チラシ作成) 新1年生新規団員募集開始
	5/10	静岡新聞取材
	5/21	新聞掲載
	5/29	会議(初心者講習会開催準備)
	6/3	初心者講習会(台風・大雨警報発令ため中止)
6/21	会議(市制100周年記念イベント準備・フィールド大会打ち合わせ)	
8/12	会議(フィールド大会準備・9月以降の練習内容、本番の打ち合わせ)	
9/28	会議(沼津市芸術祭準備)	
1/16	会議(福祉ふれあい広場本番の打ち合わせ、フィールド大会・卒団式の打ち合わせ)	
1/28	広報ぬまづ取材	

	3/1 3/12 3/14	広報めまづ3月1日号掲載 年度振り返り・次年度についてのアンケートの実施 会議(卒団式にむけて打ち合わせ)・令和6年度新規団員募集準備
事業効果		<p>※ 事業計画書において設定した、成果指標に対する実績値を、具体的な数値を用いて記載してください。</p> <p>学生団員30人以上と目標に対して、今年度は3年生8名、2年生6名、1年生5名の計19名が在籍。見学・体験にきた学生は13名、そのうち9名が入団。</p> <p>市内中学校10校から19名が集まり、他校中学生同士の交流が生まれた。市制100周年記念イベントでの演奏では、地域のたくさんの方に演奏を聴いていただく機会となった。聴いている方も演奏の中で手拍子や歌を口ずさむ姿があり、音楽を通して地域の方とのつながり、賑わいを創出することができたと感じている。</p> <p>演奏曲の中に沼津市歌や沼津にゆかりのある曲を演奏する中で、学生へ音楽を通して故郷を知る機会となり、郷土愛の醸成につながる活動・取り組みも行うことができた。</p> <p>2月17日は普段練習場所として利用している千本プラザから依頼があり、演奏の機会をいただいた。曲目はこの1年取り組んできた曲を中心に団員が選び、司会原稿も自分たちで考えて作成した。プログラムの中の「沼津市歌」の演奏では「懐かしい」「昔は学校で歌った」などの声もあり、演奏に合わせて来場者も一緒に歌い、会場が一つになった。アンコールは用意していなかったが、会場から「もう一曲聞きたい」との声ももらい、地域の方とふれあいながらあたたかな本番を経験することができた。</p>
自己評価		<p>※ 上記事業効果を踏まえて、事業の自己評価をしてください。</p> <p>設立2年目となり、学生が活動に慣れ、活動の中での学生同士のコミュニケーションが増えた。</p> <p>特に1年生はじっくり基礎練習をし、個々に合わせたアドバイスを聞くことで演奏技術を学ぶ機会となり、向上心をもち取り組む姿がみられた。</p> <p>継続して行っている基礎を毎回積み重ねることで、大人は欠けているパートのみの支援で学生の力で合奏する力がついた。</p> <p>団員募集については、地域への周知・PR方法を考える必要がある。</p>
今後の活動予定		<p>※ ファンドを利用予定・自己資金で活動・事業の見直し等、今後の展開について記載してください。</p> <p>資金については、より多くの方に気軽に参加してもらえるよう受益者負担を極力抑えて、なおかつ継続的な活動をしていくための方法を考えたい。</p> <p>学校部活動と両立しての活動のため、現状では月2回での活動が負担なく続けていける。今後は沼津市の部活動移行の動向に合わせ、中学生にとってより良い環境を作っていきたい。</p> <p>次年度まずは団員を約30名に増やし、学生だけで本番の演奏ができる編成を目指したい。自主公演(単独で1時間ほどの演奏会)については、現時点での活動頻度や部活動との両立を考えると難しい。フィールドの活動での練習の成果を発表する場、地域での活動ならではの経験の場を学生とのみ考え、学生主体で活動を進めていく体制作りも考えていきたい。</p>